

## 第 12 章 公害の苦情

## 第 1 節 公害苦情の件数

### 1 公害苦情の件数

平成25年度の公害に関する苦情件数は195件で、前年度よりも1件減少しています（表12-1、図12-1）。

表12-1 年度別公害苦情の件数

年度	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	土壌汚染	地下水	その他	合計
16	31	35	42	12	76	1	0	5	202
17	32	53	79	17	78	0	0	7	266
18	26	46	49	20	98	0	0	5	244
19	26	64	60	7	80	0	3	6	246
20	21	51	70	6	88	0	1	3	240
21	13	44	69	8	73	0	1	2	210
22	18	49	85	22	51	0	1	5	231
23	8	31	72	10	52	0	1	1	175
24	16	42	74	9	48	0	1	6	196
25	14	34	74	14	50	0	1	8	195

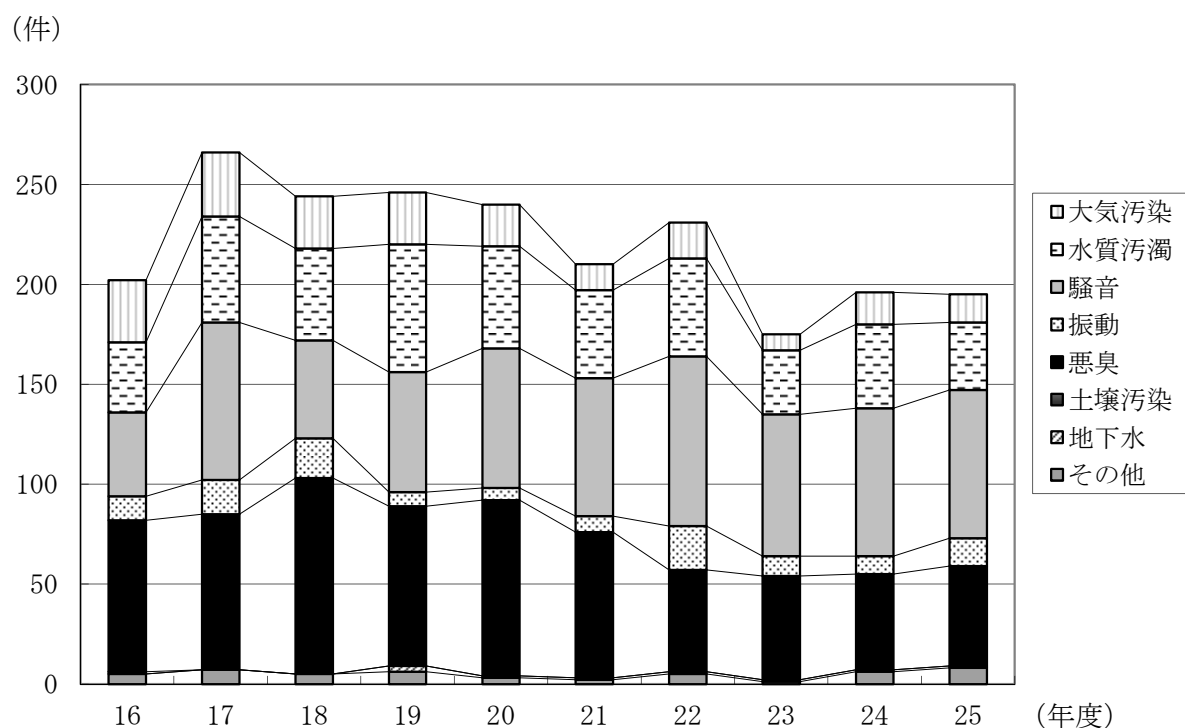


図12-1 年度別公害苦情件数の推移

## 2 種類別の苦情件数

苦情件数を種類別にみると、騒音の苦情が最も多く、以下悪臭、水質汚濁、大気汚染、振動、地下水の順となっています（図12-2）。

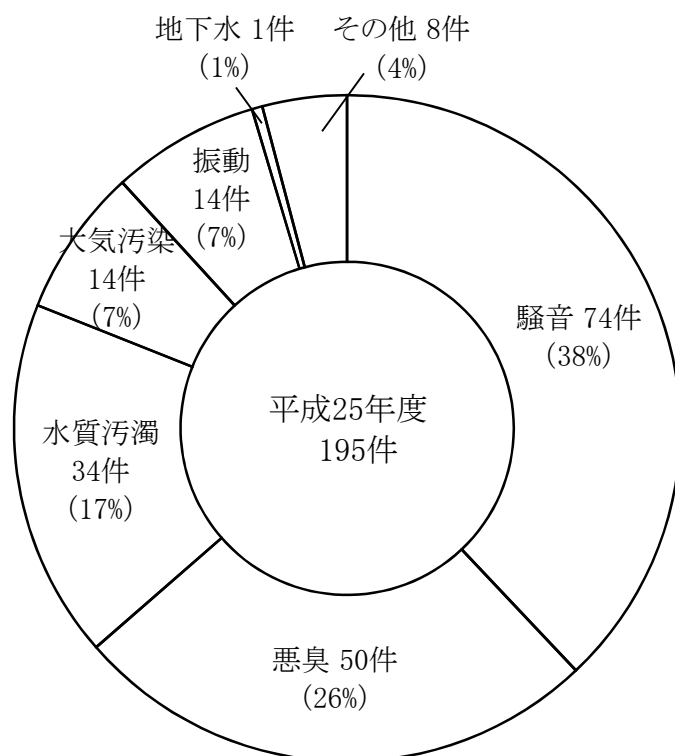


図12-2 種類別苦情件数

## 3 月別の苦情件数

苦情件数を月別にみると5月が最も多くなっています。6月も多く、秋に減少する傾向が見られました（図12-3）。

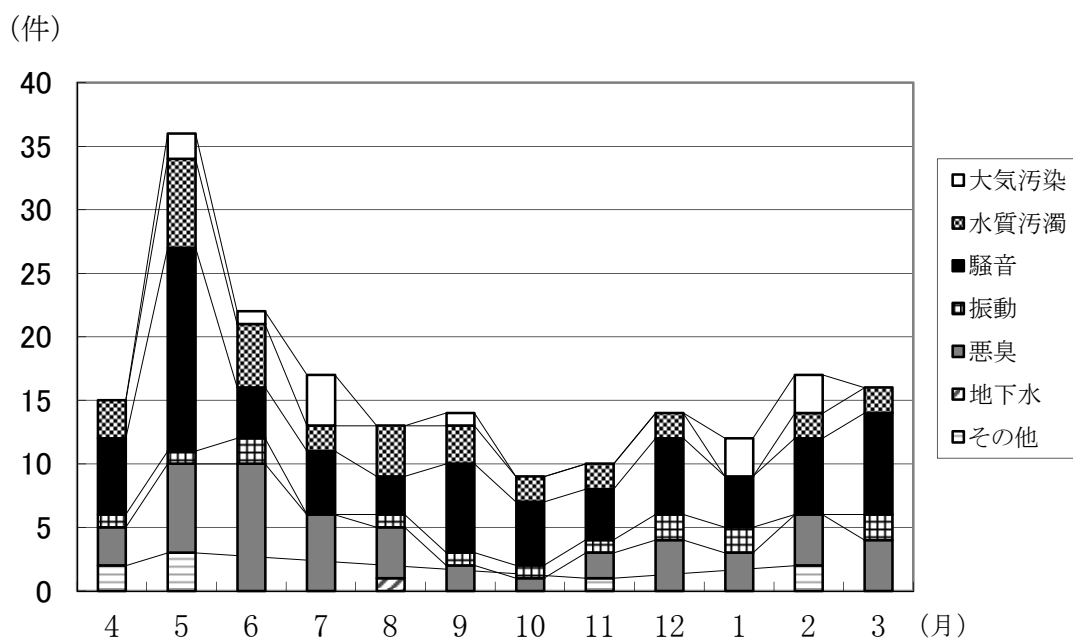


図12-3 月別の苦情件数

#### 4 業種別の苦情件数

苦情発生源を業種別にみると、苦情件数が最も多かったのは総合工事業の53件で、次いでサービス業の42件、製造事業所の24件、家庭生活の10件となっています（表12-2）。

表12-2 発生源の業種別の苦情件数（平成25年度）

業種	大気	水質	騒音	振動	悪臭	地下水	その他	合計	
耕種農業			2					2	
畜産養蚕農業		1	1					2	
農業サービス業		1						1	
林業									
漁業									
金属工業									
石炭原油鉱業									
非金属工業									
総合工事業	8	1	34	6	2		2	53	
その他工事業		2	2					4	
製造事業所	食料品製造業		4	3		7		14	
	繊維工業								
	木材製造業	1						1	
	パルプ製造業								
	出版関連産業								
	化学工業								
	石油製造業								
	プラスチック製造業								
	ゴム製造業								
	窯業等製造業	1				1			2
	鉄鋼非鉄金属			1	2				3
	機械器具製造					2			2
	その他製造業					1		1	2
	(小計)	2	4	4	2	11		1	24
雷気ガス等									
水道業									
鉄道業									
旅客輸送業									
貨物輸送業									
航空運輸業									
その他運輸業			1					1	
サービス業	再生資源卸売								
	卸売・小売業	1	1	2				4	
	飲食業			4		9		13	
	飲食店のカラオケ			1				1	
	洗濯理容業等			2				2	
	駐車業								
	生活関連サービス								
	旅館等		1	2				3	
	娯楽業					1		1	
	娯楽業のカラオケ			1				1	
	ゴルフ場業等								
	自動車整備業		1	1		1		3	
	機械修理業					1		1	
	専門サービス業								
	廃棄物処理業		3		1	2		2	8
	医療業等								
	社会保険福祉		1						1
教育等			2					2	
その他サービス業			1		1			2	
(小計)	1	7	16	1	15		2	42	
公務			2					2	
家庭生活	1	2	1		5		1	10	
家庭生活ペット									
事務所					1		1	2	
道路			1	3	3			7	
空地					3			3	
公園	1							1	
神社寺院等									
その他	1		5		1		1	8	
不明		16	5	2	9	1		33	
合計	14	34	74	14	50	1	8	195	

## 5 用途区域別の苦情件数

苦情の発生源を用途地域別にみると、苦情件数が最も多かったのは住居区域の76件で、次いで商業地域の39件、調整区域の36件となっています（表12-3）。

表12-3 用途地域別公害苦情件数

	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	地下水	その他	合計	比率 (%)
住居区域	4	9	31	6	21	1	4	76	39.0
近隣商業	1	1	8		3			13	6.7
商業	2	4	22	1	9		1	39	20.0
準工業		1	1		4			6	3.1
工業			2	1				3	1.5
工業専用		1	2		6			9	4.6
調整区域	6	13	6	5	4		2	36	18.5
その他	1	4	2	1	3		1	12	6.2
特定できず		1						1	0.5
合計	14	34	74	14	50	1	8	195	100.0

## 6 被害の種類別の苦情件数

苦情原因を被害の種類別にみると、苦情件数が最も多かったのは感覚・心理的の133件で、次いで健康の51件となっています（表12-4）。

表12-4 被害の種類別公害苦情件数

	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	地下水	その他	合計	比率 (%)
健康	4	2	26	2	15		2	51	26.2
財産				2			1	3	1.5
動物・植物		3						3	1.5
感覚・心理的	9	26	48	10	35	1	4	133	68.2
その他	1	3					1	5	2.6
合計	14	34	74	14	50	1	8	195	100.0

## 第2節 公害苦情の概況

### 1 大気汚染

苦情件数は14件で前年度より2件減少しました（図12-4）。

ばい煙に関するものは3件で、発生源としては野焼き1件、焼却炉1件、その他1件となっています。

粉じんに関するものは11件で、発生源としては工事現場8件、その他3件となっています。

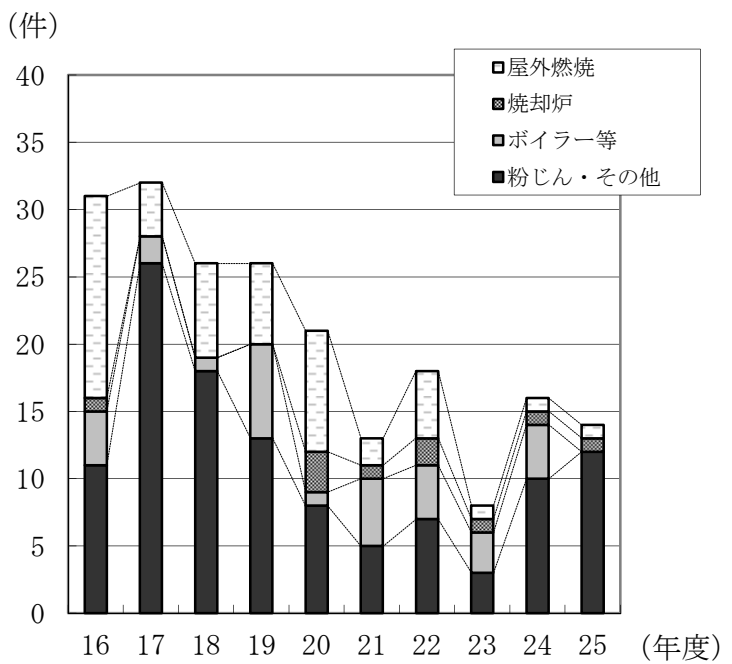


図12-4 大気汚染苦情内訳

### 2 水質汚濁

苦情件数は34件で前年度より8件減少しました（図12-5）。

種類としては、汚水21件、油流出10件、へい死魚3件となっています。

河川汚濁事故対策としては、発生源に対する汚水処理の適正指導、汚濁物質の取扱い事業所に対する文書指導、広報誌による意識啓発等を行っています。

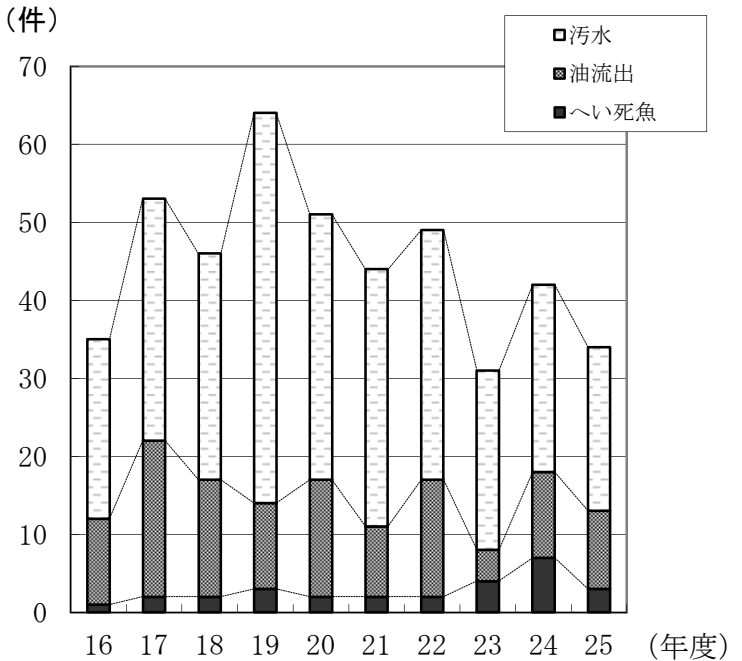


図12-5 水質汚濁苦情内訳

### 3 騒音

苦情件数は74件で前年度と同じ件数でした（図12-6）。

発生源としては、工場・事業場等20件、建設作業34件、営業騒音5件、拡声機放送2件、その他自動車や家庭生活13件となっています。

聞く人の身体や心理の状態、聞く時間や周囲の状況によってうるさく感じる度合いが異なり、また、個人の感情面にも左右される要素があります。

さらに、発生源と苦情申立者が隣接しているにもかかわらず、当事者間での話し合いが持たれる前に、苦情として市に申し立てられることが多く、隣人同志のコミュニケーション不足も都市・生活型公害が増加する大きな要因となっています。

現代の都市形態の中で、快適な暮らしを維持していくためには、自分自身の生活だけでなく、他人の生活への配慮が必要です。

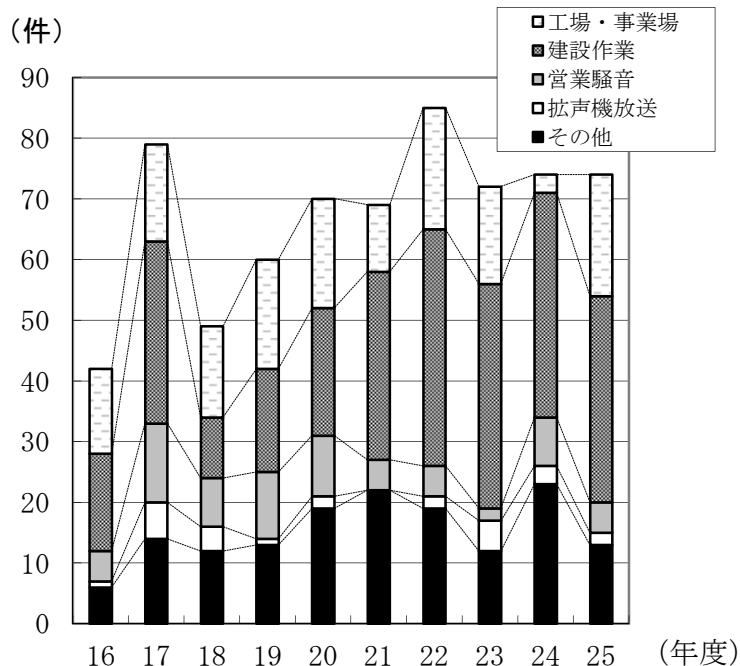


図12-6 騒音苦情内訳

### 4 振動

苦情件数は14件で前年度より5件増加しました（図12-7）。

発生源の内訳は、工場・事業場4件、建設作業5件、道路交通3件、その他2件となっています。

資材置場での荷物の積み下ろしや産業用機械を使用した作業などが、発生源となっている事例が多くみられました。

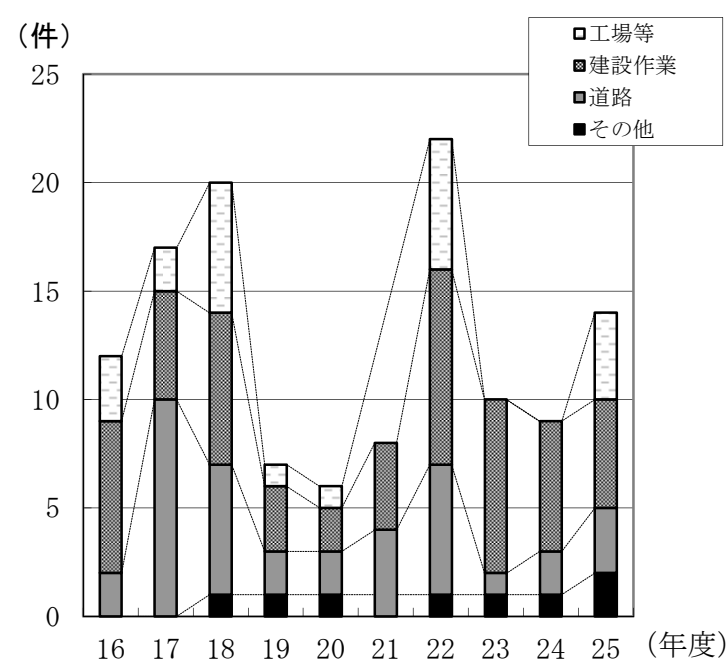


図12-7 振動苦情内訳

## 5 悪 臭

苦情件数は50件で前年度より2件増加しました。主な苦情発生源は家庭生活4件、工場・事業場24件、畜産・農業1件、塗料のシンナー臭5件、側溝4件、その他や発生源不明12件となっています（図12-8）。

畜産農業系の苦情については、都市化による住居と畜産農家との混在化、住民の快適環境への要求の高まり等が原因と考えられます。

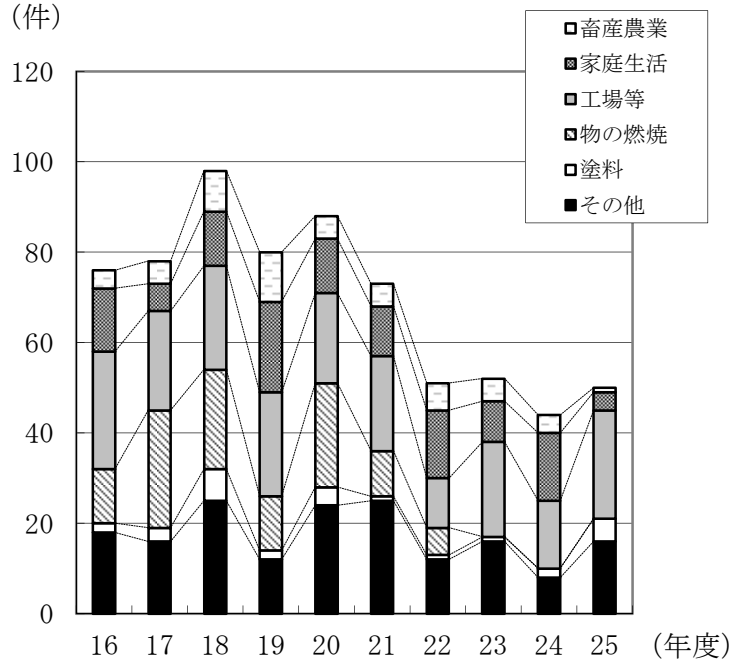


図12-8 悪臭苦情内訳



